

2025
年度

全道中間支援団体 研修&交流会 in 伊達



12月6日(土) 12:00 ~ / 7日(日) 10:00 ~

ハイブリッド開催

北海道伊達市 だて歴史の杜カルチャーセンター

テーマ 住み続けられる地域へ — 災害への備え、
移住定住、そして中間支援による共創

特別講義



12/7 地域政策学・地域社会学研究者
(2日目)

国際大学GLOCOM 研究員・講師 **伊藤 将人 氏**

対象 道内で活動する中間支援組織のメンバー / 中間支援に関心がある方

参加費 1日目:1団体あたり2,000円(第1部・2部通して)

2日目:1名あたり1,000円(前日参加者 500円 / オンライン参加1,500円)

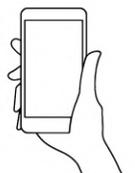
申込み webフォームから申し込み下さい <https://giscen.hokd.jp/zendo2025/>

開催者 主催:全道中間支援センターグループ / 北海道立市民活動促進センター

共催:NPO法人室蘭NPO支援センター

共催・お問い合わせ:㈱伊達観光物産公社 TEL 0142-25-6504

✉ giscen@hokd.jp



DAY1

12月6日(土) 第1部12:00～14:15 / 第2部 14:30～17:00

第1部 中間支援団体交流会

各地の中間支援団体が自己紹介や近況を共有し、課題の整理や解決のヒントを見つけます。情報交換や交流を通じて、互いに支え合いながら中間支援の活動のさらなる活性化を目指します。

第2部 各地の災害と中間支援の備え

広い北海道では、災害時にすぐ外部支援を受けられるとは限りません。本研修では、災害への備えを中心に、各地の中間支援団体や市民団体が果たすべき役割、および被災者支援の実践的な取り組みを学びます。平時からの関係づくりを通じて、災害時に活かせる協働体制の構築を目指します。

(事前課題あり)



講師

北の国災害サポートチーム
代表 篠原 辰二 氏

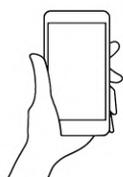
DAY2

12月7日(日) 10:00～12:30

特別講義「移住定住と地域づくり」 + パネルディスカッション

伊藤 将人 氏 (地域政策学・地域社会学研究者 国際大学GLOCOM 研究員・講師)

DAY2特別講義のオンライン参加者には、後日配信リンクをお送りします。リアルタイム配信ではないため、パネルディスカッションにはご参加いただけません。あらかじめご了承ください。



申し込み・詳細情報はこちら

<https://giscen.hokd.jp/zendo2025/>

※内容や時間は一部変更となる場合があります。

